

第43期株主通信

平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで

株式のご案内

| | |
|------------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 期末配当金受領株主 確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主 確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同 連 絡 先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 大阪証券取引所 (ジャスダック市場) |
| 公告の方法 | 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.consec.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) |

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ホームページアドレス <http://www.consec.co.jp>

CONSEC 株式会社コンセック

時代のニーズに応える技術で 次世代の世界へ飛翔します。

CONTENTS

| | |
|----------|----|
| 株主の皆様へ | 1 |
| グループ企業紹介 | 3 |
| トピックス | 4 |
| 連結財務情報 | 5 |
| 連結財務データ | 7 |
| 単独財務情報 | 8 |
| 株式の状況 | 9 |
| 会社の概況 | 10 |

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに、第43期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の事業の概況につきましてご報告をかね、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における我が国の経済は、世界同時不況の深刻な影響を受け企業収益が急減する中、民間設備投資や雇用情勢は著しく後退し、所得水準の低下や個人消費の冷え込みなど不況感の強い厳しい状況が続きました。建設土木業界におきましても地価の下落に歯止めがかからず、先行き不透明な環境のうちに新規の建設需要は低水準に推移し、厳しい受注環境が続きました。

このような環境の中、当社グループは既存構築物の耐震化需要の多様化に伴い、周囲の環境保全と工事の安全性向上に取り組み、地中の既存マンホールの耐震化に必要な消散弁や、構築物を利用したままでもリニューアル工事施工を可能にする乾式ダイヤモンドコアドリル機器を開発し、複合ビル、病院、学校、鉄道駅等の改造工事分野の開拓を進めましたが、新築ビルの建設需要全体の減少を補うには至りませんでした。

一方、将来の収益事業の多角化構築とグループ価値の向上を目指し、介護事業においては24時間対応の介護事業所を付設する高齢者専用賃貸住宅を新規に開設を行い、IT関連事業では首都圏事務所の集約管理を図り、広島・東京のIT技術連携を充実・推進いたしておりますが、当期の業績を押し上げるには至りませんでした。

この結果、当期の決算概況は以下のとおりとなりました。

| 区 分 | 第43期 (当期) | 第42期 (前期) | 対前期 増減率 |
|-------------|--------------|--------------|------------|
| 売 上 高(連結) | 7,777百万円 | 8,793百万円 | △11.6% |
| 経 常 利 益(連結) | △272百万円 | △101百万円 | — |
| 当期純利益(連結) | △404百万円 | △584百万円 | — |

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。

当連結会計年度の売上高は77億77百万円（前期比11.6%減）となりました。損益面におきましては、激しい価格競争の中、徹底したコスト削減や販売管理費の圧縮に鋭意努力してまいりましたが、売上高の減少による利益の低下を補えず、営業損失は3億37百万円（前期は営業損失85百万円）、経常損失は2億72百万円（前期は経常損失1億1百万円）となり、当期純損失は4億4百万円（前期は当期純損失5億84百万円）となりました。

事業区分別売上高の概況は以下のとおりとなりました。

| 事業区分 | 第43期 (当期) | 第42期 (前期) | 対前期 増減率 |
|------------|--------------|--------------|------------|
| 切削機具事業 | 2,559百万円 | 2,833百万円 | △ 9.6% |
| 特殊工事業 | 1,309百万円 | 1,392百万円 | △ 5.9% |
| 建設・生活関連品事業 | 2,672百万円 | 3,159百万円 | △15.4% |
| 工場設備関連事業 | 569百万円 | 706百万円 | △19.4% |
| 介護事業 | 352百万円 | 323百万円 | 9.0% |
| IT関連事業 | 315百万円 | 382百万円 | △17.5% |
| 合 計 | 7,777百万円 | 8,793百万円 | △11.6% |

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。

【切削機具事業】

中国の子会社への生産移管が進み、コスト低減、および製品機種が増加し、マンホール消散弁の増加や改修リニューアル工事向けのアンカードリル、自動送り装置の販売も順調に推移し、製品売上はほぼ前年同等でしたが、国内建築工事需要全体が落ち込み、コアビット・ブレード等のダイヤモンド切削消耗品の需要が大きく減少しました。売上高は25億59百万円（前期比9.6%減）となりました。

【特殊工事業】

橋梁解体工事、学校耐震工事や鉄鋼構築物解体など耐震補強に伴う工事は前年並みに進みましたが、アンカー工事やボンド工事等の一般工事は減少し、売上高は13億9百万円（前期比5.9%減）となりました。

【建設・生活関連品事業】

新規住宅着工件数の大幅な減少により、機械工具・住宅関連資材とも売上が減少し、OA機器や家具等の個人消費財の生活関連機器が伸びず、売上高は26億72百万円（前期比15.4%減）となりました。

【工場設備関連事業】

民間設備投資の低迷により自動制御盤・配電盤等の売上が減少し、売上高は5億69百万円（前期比19.4%減）となりました。

【介護事業】

24時間対応の介護事業所を付設する高齢者専用賃貸住宅を平成21年11月に新規開設を行いました。売上高は3億52百万円（前期比9.0%増）となり、業績への効果は来期からとなる見込みです。

【IT関連事業】

電算システムソフトウェア受託開発やIT技術者派遣事業の効率化を進めるため、東京事務所の集約管理を強化し、

広島との技術的連携を推進いたしました。民間設備投資の減速により、売上高は3億15百万円（前期比17.5%減）となりました。

今後の我が国経済は、国内外の緊急経済対策の効果等から民間設備投資は下げ止まりつつあり、一部の企業業績に回復傾向が見られるものの、雇用情勢は依然として深刻であり、個人消費の低迷は今後も続くものと思われ、景気回復のペースは緩やかにとどまるものと思われます。土木建設業界においても公共投資の抑制が今後も続き、建設需要の早期回復は難しく受注競争は一層厳しくなると予想されます。

このような状況の中で当社グループが対処すべき課題は、切削機具部門においては今期に投入した新製品群の顧客開拓と拡販を図るとともに、乾式工法に特化したダイヤモンド切削機具類のマーケティング戦略を展開してシェアの拡大を図ることです。そのため中国を中心にアジア地域の生産拠点連携を深め、生産技術の高度化を急ぎ、機械器具のみならずダイヤモンド切削消耗品のビットやブレードに至るまで自社完結型商品開発を促進し、価格競争力を強化してまいります。また、特殊工事部門では耐震補強工事に関連する鉄鋼関連の特殊解体工法を進化させるとともに、需要拡大の見込めるリニューアル工事分野に構築物診断技術を用いた提案型営業を促進し、受注拡大を目指してまいります。さらにグループ企業の特性を生かすつつ相乗効果を最大限に高め、光電子銃型電子線照射装置を活用した滅菌分野、燃料電池分野への事業開発など新規分野においても収益事業の多角化に着手し、独立性の強い企業グループを確立してまいります。

損益面におきましては一層の合理化と営業費用の圧縮に努め、効率経営に徹し、収益体質の早期改善・向上に総力を挙げて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

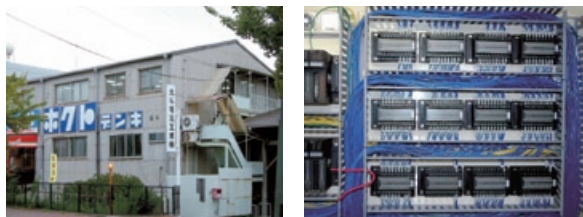
平成22年6月

代表取締役社長

佐々木秀隆



北斗電気工業株式会社



大型運搬機器や汎用ボイラなど、機械装置の頭脳ともいえる制御盤のシステム構築を中心に、幅広い分野で独自の発想と卓越したノウハウで時代のハイテク技術にお応えしております。

株式会社サン・ホクト



各種製缶・板金・自動制御盤・配電盤等箱体の製作およびパンチングマシンによる精密板金加工を行っております。

株式会社サンライフ



広島・山口を中心とした、高齢者対象の介護サービス（デイサービス、ケアプランサービス、介護付有料老人ホーム）をご提供しています。介護の専門スタッフにより、高齢者およびご家族をサポートしていきます。

株式会社デンサン



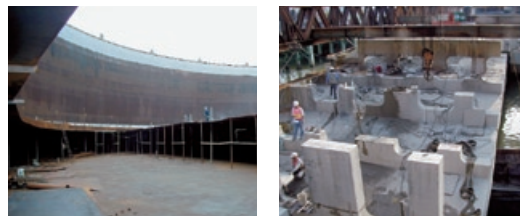
ソフトウェアの「受託開発」を専門とし、技術と業務スキルを駆使し、お客様の多種多様なニーズに応えるべく「お客様のためのシステム作り」を主眼にソフトウェア開発を行っております。

南通康賽克工程工具有限公司



中国・江蘇省南通市のダイヤモンド切削機具生産の工場では、主力商品のコアドリルの生産移管を高めており、コストダウンに効果が出てきております。

祥建企業股份有限公司



台湾における当社製品の卸売、特殊工事のアドバイザー業務、機械部品等の輸出入業務、原油タンクの補修工事・防煙ガラスの据付工事等を行っております。

乾式アンカードリル ADD-020H

当社は、これまでのコアドリルなどで培った技術を応用した「乾式アンカードリル ADD-020H型」を発売いたしました。

本機は、水が使用できない現場や、病院・学校やオフィスなど騒音・振動を出せない場所での穴あけや、耐震補強工事のアンカー下穴あけ等の用途に威力を発揮します。

軽くて重量バランスが良く、最大出力1,800Wのハイパワーモータを採用しているため、高速穿孔を可能としました。ソフトスタート制御によりスムーズに回転し始め、穴あけ中は回転速度を維持する定回転制御を行うので高い作業性を得ることができます。また、穴あけ中に急激な負荷がかかると自動的にモータの回転を下げ、衝撃を和らげる過負荷防止機能も装備しております。本体に回転速度変更ダイヤルを装備し作業現場の状況に応じた回転速度に調整し作業効率のアップも可能です。

本機は市販のバキュームクリーナーを接続しビット先端（刃先）吸じん方式を採用しているため、粉じんが飛散せず穴あけ時に発生する切り粉を回収し現場を汚さずに作業することを可能にしました。



連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 当期 | |
|--------------|----|----------------------|----------------------|
| | | 当期 (平成22年3月31日現在) | 前期 (平成21年3月31日現在) |
| (資産の部) | | | |
| 流動資産 | | 4,439 | 4,801 |
| 固定資産 | | 6,331 | 6,389 |
| 資産合計 | | 10,770 | 11,190 |
| (負債の部) | | | |
| 流動負債 | | 2,968 | 2,674 |
| 固定負債 | | 733 | 1,067 |
| 負債合計 | | 3,700 | 3,741 |
| (純資産の部) | | | |
| 株主資本 | | 7,050 | 7,454 |
| 資本金 | | 4,090 | 4,090 |
| 資本剰余金 | | 3,423 | 3,965 |
| 利益剰余金 | △ | 409 | △ 548 |
| 自己株式 | △ | 54 | △ 54 |
| 評価・換算差額等 | △ | 75 | △ 103 |
| その他有価証券評価差額金 | △ | 68 | △ 93 |
| 為替換算調整勘定 | △ | 8 | △ 10 |
| 少数株主持分 | | 95 | 98 |
| 純資産合計 | | 7,070 | 7,449 |
| 負債、純資産合計 | | 10,770 | 11,190 |

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 当期 | |
|--------------|----|-------------------------------------|-------------------------------------|
| | | 当期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで) | 前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで) |
| 売上高 | | 7,777 | 8,793 |
| 売上原価 | | 6,124 | 6,851 |
| 売上総利益 | | 1,654 | 1,942 |
| 販売費及び一般管理費 | | 1,990 | 2,027 |
| 営業損失 | | 337 | 85 |
| 営業外収益 | | 89 | 60 |
| 営業外費用 | | 24 | 76 |
| 経常損失 | | 272 | 101 |
| 特別利益 | | 0 | 1 |
| 特別損失 | | 19 | 401 |
| 税金等調整前当期純損失 | | 291 | 502 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 34 | 46 |
| 法人税等調整額 | | 74 | 29 |
| 少数株主利益 | | 5 | 7 |
| 当期純損失 | | 404 | 584 |

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 当期 | |
|---------------------|----|-------------------------------------|-------------------------------------|
| | | 当期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで) | 前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 67 | △ 179 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | △ 120 | △ 177 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | △ 16 | 401 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | 1 | △ 11 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | | △ 68 | 33 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | | 767 | 734 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | | 699 | 767 |

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

連結株主資本等変動計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

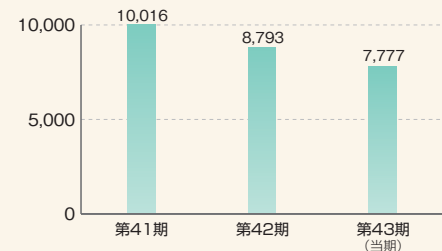
(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | | | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------------|-------|-------|-------|------|--------|--------------|----------|------------|--------|-------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 評価・換算差額等合計 | | |
| 平成21年3月31日 残高 | 4,090 | 3,965 | △548 | △54 | 7,454 | △93 | △10 | △103 | 98 | 7,449 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の振替 | | △542 | 542 | | — | | | | | — |
| 当期純利益 | | | △404 | | △404 | | | | | △404 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | | | | | | 25 | 2 | 27 | △3 | 24 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | △542 | 139 | △0 | △404 | 25 | 2 | 27 | △3 | △380 |
| 平成22年3月31日 残高 | 4,090 | 3,423 | △409 | △54 | 7,050 | △68 | △8 | △75 | 95 | 7,070 |

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

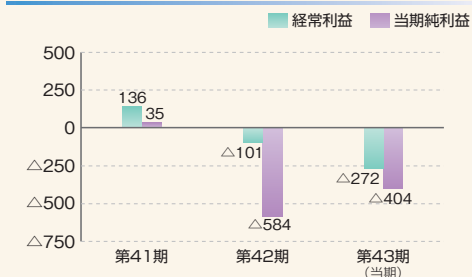
売上高

(単位:百万円)



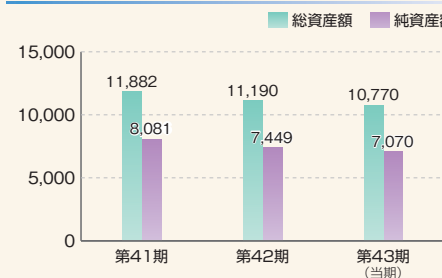
経常利益/当期純利益

(単位:百万円)



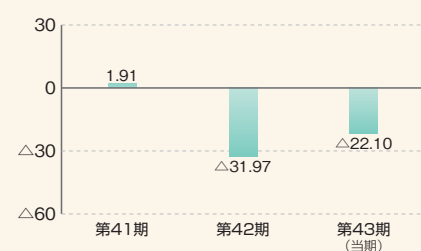
総資産額/純資産額

(単位:百万円)



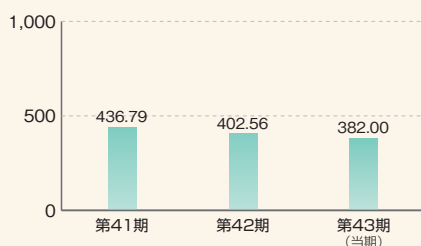
1株当たりの当期純利益

(単位:円)



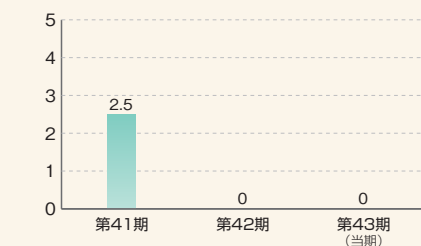
1株当たりの純資産額

(単位:円)



1株当たりの配当金

(単位:円)



単独貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | |
|----------------|----------------------|----------------------|
| | 当期 (平成22年3月31日現在) | 前期 (平成21年3月31日現在) |
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 3,763 | 4,105 |
| 固定資産 | 6,441 | 6,425 |
| 資産合計 | 10,204 | 10,530 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 2,645 | 2,271 |
| 固定負債 | 577 | 892 |
| 負債合計 | 3,222 | 3,163 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 7,049 | 7,459 |
| 資本金 | 4,090 | 4,090 |
| 資本剰余金 | 3,423 | 3,965 |
| 利益剰余金 | △ 410 | △ 542 |
| 自己株式 | △ 54 | △ 54 |
| 評価・換算差額等 | △ 67 | △ 92 |
| その他有価証券評価差額金 | △ 67 | △ 92 |
| 純資産合計 | 6,982 | 7,368 |
| 負債、純資産合計 | 10,204 | 10,530 |

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

単独損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | |
|--------------|---------------------------------|---------------------------------|
| | 当期 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで) | 前期 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで) |
| 売上高 | 6,509 | 7,317 |
| 売上原価 | 5,090 | 5,700 |
| 売上総利益 | 1,419 | 1,617 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,698 | 1,758 |
| 営業損失 | 279 | 141 |
| 営業外収益 | 83 | 55 |
| 営業外費用 | 17 | 47 |
| 経常損失 | 213 | 133 |
| 特別利益 | — | — |
| 特別損失 | 94 | 400 |
| 税引前当期純損失 | 307 | 532 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 31 | 30 |
| 法人税等調整額 | 72 | 26 |
| 当期純損失 | 410 | 588 |

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

単独株主資本等変動計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | | 評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金 | 純資産 合計 |
|-----------------------------|-------|-----------|--------------|---------|----------|------------|------------------------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | 自己 株式 | 株主資本 合計 | | |
| | | 資本 準備金 | その他 資本剰余金 | 繰越利益剰余金 | | | | |
| 平成21年3月31日 残高 | 4,090 | 3,552 | 413 | △ 542 | △ 54 | 7,459 | △ 92 | 7,368 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の振替 | | △ 1,000 | 458 | 542 | | — | | — |
| 当期純利益 | | | | △ 410 | | △ 410 | | △ 410 |
| 自己株式の取得 | | | | | △ 0 | △ 0 | | △ 0 |
| 株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額) | | | | | | | 25 | 25 |
| 事業年度中の変動額合計 | — | △ 1,000 | 458 | 132 | △ 0 | △ 410 | 25 | △ 385 |
| 平成22年3月31日 残高 | 4,090 | 2,552 | 871 | △ 410 | △ 54 | 7,049 | △ 67 | 6,982 |

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

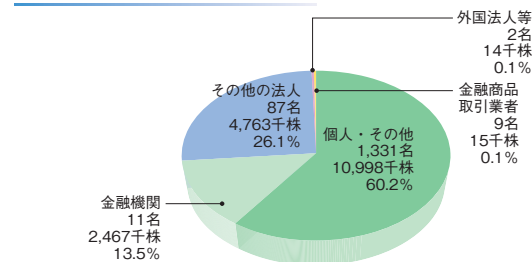
株式の状況 (平成22年3月31日現在)

発行可能株式総数 28,600,000株
 発行済株式の総数 18,640,112株
 株主数 1,440名
 大株主 (上位10名)

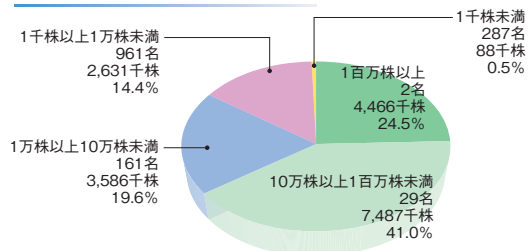
| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|--------------|------------|-------|
| 日本鉱泉株式会社 | 2,692,000株 | 14.7% |
| 佐々木秀隆 | 1,774,000 | 9.7 |
| コンセック従業員持株会 | 799,592 | 4.4 |
| 株式会社もみじ銀行 | 583,200 | 3.2 |
| 株式会社損害保険ジャパン | 434,000 | 2.4 |
| 吉田五郎 | 392,000 | 2.1 |
| 岡田純子 | 327,176 | 1.8 |
| 株式会社グイビ | 320,000 | 1.8 |
| 朝日生命保険相互会社 | 314,000 | 1.7 |
| 西川物産株式会社 | 310,000 | 1.7 |

(注) 1. 当社は、自己株式を381,894株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

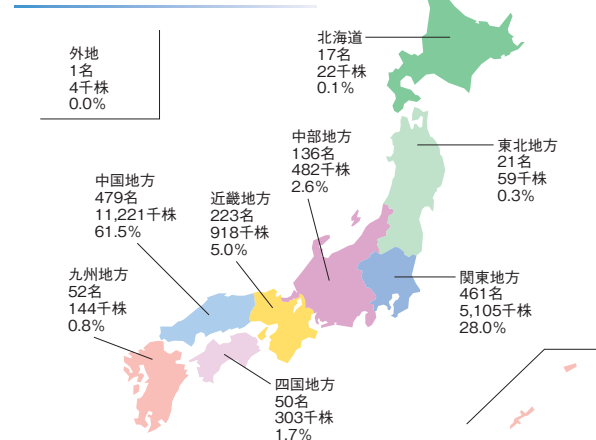
所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



地域別株式分布状況



(注) 上記株式分布状況に関して自己株式 (381,894株) を除外しております。

会社の概況 (平成22年3月31日現在)

会社の概要

社名 株式会社 コンセック
 (CONSEC CORPORATION)
 本社所在地 広島市西区商工センター四丁目6番8号
 TEL (082) 277-5451 (代表)
 設立 昭和42年11月6日
 資本金 40億90百万円
 従業員数 連結: 436名 単独: 238名
 ホームページ <http://www.consec.co.jp>
 連結子会社 祥建企業股份有限公司 (台湾・三重市)
 北斗電気工業株式会社 (広島県呉市)
 株式会社サン・ホクト (広島県呉市)
 南通康賽克工程工具有限公司 (中国・江蘇省南通市)
 株式会社サンライフ (広島市西区)
 株式会社デンサン (広島市南区)

主な事業内容 当社グループは次の物品の製造および仕入販売、コンクリート特殊工事ならびに不動産施設の賃貸等を行っております。

〔切削機具事業〕
 穿孔・切断機器、ダイヤモンド切削消耗品等の製造および販売

〔特殊工事事業〕
 アンカー工事、コアボーリング・カッター工事、ワイヤーソー工事等

〔建設・生活関連品事業〕
 建設機械・工具、住宅・OA機器、生活関連機器等の販売

〔工場設備関連事業〕
 自動制御盤、配電盤等の製造および販売

〔介護事業〕
 デイサービス、ケアプランサービス、介護付有料老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅

〔IT関連事業〕
 ソフトウェア受託開発、人材派遣

ネットワーク

支店 東京、大阪
 営業所 札幌、仙台、横浜、名古屋、岡山、広島、高松、福岡、他21ヶ所
 工場 広島工場
 物流センター 広島配送センター

役員

代表取締役社長 佐々木 秀 隆
 専務取締役 吉 本文 雄
 取締役 千 田 稔
 取締役 福 田 多喜二
 取締役 原 田 文 栄
 取締役 三 中 達 雄
 常勤監査役 國 本 純 男
 監査役 加 藤 公 敏
 監査役 廣 本 邦 幸